

第6学年東組 家庭科学習指導案

学習指導者 田中 明日香

1 題材名 「『こんなの欲しい』を自分で作ろう マイバッグ」

2 題材について

(1) 目指す子供の姿

【互いに磨き合い、学び続ける子供の姿】

自分の生活を豊かにする袋を製作するために、生活の営みに係る見方・考え方を働かせながら製作計画及び製作について工夫したことを、友達と交流して見直していく。その経験を生かしてさらに生活を豊かにする物の製作に向けて工夫を考え続けている。

知識・技能

製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解するとともに、ミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解し、適切にできる。

学びに向かう力・人間性等

家庭生活を大切にする心を持ち、学んだことを生かして家族の一員として生活をよりよくしようとしている。

思考力・判断力・表現力等

生活を豊かにするために、日常生活で使用する物を入れるための布を用いた袋の製作計画を考え、製作を工夫する。

本題材では、子供一人一人が入りたい物や使いたい場面などの目的に合わせて、布を用いてトートバッグや巾着袋等を製作する。製作のために、生活の営みに係る事象を快適等の視点で捉え、作った物が丈夫になる製作方法を考えたり、これまで学んだ布の性質や生活経験を想起して材料を選んだりしながら、製作計画及び製作の工夫をしていく。そして、例えば「見本の布は色だけでなく、手触りや厚さに違いがあるね。どれが自分の目的にあっているかな」「私は手触りがよい布にしたよ。上靴を入れるから汚れが目立ちにくい黒の布を選んだよ。〇〇さんは、どうして水色の布にしたの」「僕は水色が好きだからだよ。それに本などの重い物を入れるから、破れにくくて長く使えそうな布にしたんだよ」などと考えた工夫とその理由について友達と交流する。その中で、使っていく上で汚れが目立ちにくいことや破れにくいことなどの布の性質について考えることが大切であることに気付いていく。そして「はじめは手触りの好みで選んでいたけど、中学校でも使いたいから、丈夫な厚い布にしたいな。上靴を入れるから色は汚れが目立ちにくい黒でよいと思った」と布を選択し、縫う部分に応じた縫い方やゆりの分量が適当であるかななどの製作計画を見直して、製作に向かっていくのである。製作後に自分の目的に合った袋を自分の手で完成させたという自信を高めることで、「今度は、お母さんが使っているエコバッグが古くなっているから作ってあげよう。エコバッグは小さくたためる形にしたいな」などと、さらに生活を豊かにする物を工夫して製作しようと考えていくのである。

(2) 子供の実態

メタ認知に関する実態調査によると、34名中9名は、学習の見通しをもって計画したり、学習の途中で自分の学びを見直したりするといった、メタ認知を働かせることが難しいことが想定される。9名のうちの6名は、家庭科の製作の場面でも、出来上りを想像して手順を考えていくことに課題を感じており、自分のしていることを振り返りながら計画を修正していくことが困難な様相が見られる。教科の特性に関する実態調査から、メタ認知を働かせることに課題がある子供9名のうち7名は、学んだことが生活とつながらず、家庭科での学びを生活で生かすことができていることが分かった。

(3) メタ認知を促す働きかけ

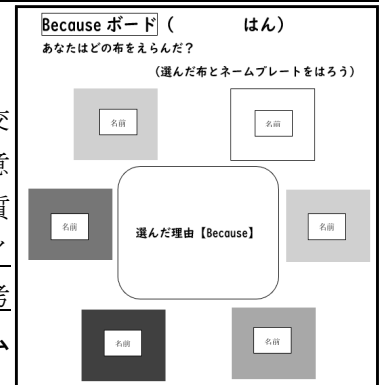
① 課題設定以前

子供たちは、「日常生活で使用する物を入れる袋を作ろう」という目標を設定し、学級で題材を通しての学習計画を立てている。その学習計画にこれまで各時間に解決した課題と学びや生活に生かしたいことを加えて掲示しておき、前時までの学びを振り返りやすくしておく。そうすることで、前時までに

どこまでが解決できており、本時は何を課題とすべきかを明確にしていく。「前の時間は製作計画を立てたし、いろんな布の種類を知ることができたね。今日は、自分の作りたい袋に合った布を選びたい」などと既習事項と本時の課題を関連させ、課題設定の理由を表出させることで、課題の妥当性を感じることができるようにする。【マイバッグ完成への道】(2~14時間目)

② 課題解決中

自分の選ぶ布とその理由をワークシートに記述し、グループの友達と交流する。「Becauseボード」に選んだ布とネームプレートを置いて自分の意見を明示し、誰がどの布を選んだかがすぐ分かるようにした上で理由を質問し合う場を設定する。質問し合いながら、各自の工夫した理由をホワイトボードに短い言葉でまとめていくことで、自分の考えの理由と友達の考えの理由の共通点や相違点に気付くことができるようにする。【Whyタイム



【Becauseボード】

・Becauseボード】(2~4, 9, 15時間目)

③ 課題解決後

課題解決中に書いた「BeforeAfterシート」を見て、考えが深まったと思うところに赤線を引き、「考えが変わった(変わらなかった)理由」の観点での振り返りをグループで行う。全体交流では自分の考えや共感した友達の考えを共有して学び方のよさを実感できるようにしたい。さらに、本時の学びをマイバッグ完成への道に位置付け、「生活に生かしたいこと」の観点での振り返りを全体で行い、生活と結びつけて振り返ることを習慣化していきたい。【BeforeAfterシート・鳥の目タイム】(2~4, 9, 15時間目)

3 題材計画 (総時数 15時間)

題材前半に、生活で使っている袋を観察して様々な種類の布に触れたり、題材を通してお助けママー(支援を行う保護者)と関わったりすることで、実生活と結びつけながら布製品への理解や製作の見通しをもてるようにする。さらに、題材終末には、製作した物を実際に使ってみて振り返る時間を設定することで、実生活の中で製作につなげていけるような題材構成にしている。

次		学習の流れ及び主な子供の意識
第一 次	① 布製品を観察して、マイバッグをイメージしよう	学校生活で使用している手提げ袋や巾着型のコップ入れ、クッションカバーなど、袋型の布製品の形や大きさを観察する。観察を通して、どんな袋を作りたいかイメージをもつ。
	②③ マイバッグの製作計画を立てよう	作りたい物と同じ形の実物を観察したり、段階見本を用いて製作の手順を考え、その理由について話し合い、製作計画を考える。新聞紙で試し作りを行い、製作手順を確認したり必要な布の形や大きさを考えたりしていく。身の回りの袋に使われている布を観察し、様々な布があることを知る。
	④ マイバッグには、どんな布を選べばよいのだろう (本時 4/15)	数種類の布の中から、自分の目的に合った布を選び、選んだ布やその理由を友達と交流する。交流の中で見付けた理由の共通点や相違点を基に、自分が選んだ布を見直し、必要に応じて修正する。
第二 次	⑤~⑭ マイバッグを製作しよう	製作の手順を参考にして、製作を進めていく。実物見本や段階見本を見ながら、分からないことを友達と相談しながら解決し、困ったときはお助けママーや教師に質問しながら製作していく。同じ形の作品を製作している友達と、製作途中の作品を見せ合い、縫い方や飾りなどについてアドバイスをし合う。友達と交流したことを生かして、製作を進め、完成させる。
	⑮ 製作を振り返り、生活に生かそう	完成後、実際にマイバッグを使ってみて気付いた改善点やアピールポイントを友達と紹介し合い、お互いの作品のよいところを見つけ合う。新たに作ってみたい物や、環境に配慮した製作など、さらに生活に生かしたいことを考えていく。

4 本時の学習指導

(1) 目標

生活を豊かにする袋の製作において、選んだ布やその理由を話し合い、製作する物の目的を考えて、汚れが目立ちにくさや丈夫さ等の根拠をもって、布を選んで、製作計画を見直すことができる。

(2) 学習指導過程

学習活動	主な子供の意識
<p>1 学習課題を設定する。 【マイバッグ完成への道】</p>	<p>私は上靴入れを作るよ。 僕は本を入れる袋を作るよ。 前の時間は製作計画を立てて、いろんな布を触ったよ。 作る物の目的に合った布が必要だね。</p> <p style="text-align: center;">マイバッグには、どんな布を選べばよいのだろう</p>
<p>2 マイバッグに使いたい布を選び、選んだ理由を話し合う。 【Whyタイム・Becauseボード】</p>	<p>布にはいろいろな種類があったね。まずは色や手触りで選んでみよう。 キルティングにしよう。中学校 本をたくさん入れたいので、厚で使いたいし、上靴を入れるから破れにくい布がいいな。色から汚れが目立たない黒にしよう。は、自分の好きな水色にしよう。 友達はどの布を選んだのかな。理由を質問してみよう。 今使っている上靴の袋もキルティングの布だったし、触り心地もいいから選んだよ。僕は丈夫さで厚い布を選んだけど、キルティングも丈夫だったね。どうして黒色を選んだの。 汚れが目立たないと思ったから好きな色だからだよ。汚れることを考えているのがいいね。 「好み」だけでなく、入れる物に合わせて「丈夫さ」や「汚れの目立ちにくさ」などをバランスよく組み合わせることが大切だね。</p>
<p>3 マイバッグ作りに使いたい布を決定し、製作計画を見直す。</p>	<p>手触りだけでなく、丈夫だから やわらかくて丈夫だし縫いやすやっぱりキルティングにしよう。 そうだからキルティングを使おう。汚れても洗濯できるから、色はやっぱり水色にしよう。 友達と話し合ったことを生かして、布を選ぶことができたよ。 選んだ布に合わせて、縫い方や布の大きさを見直そう。</p>
<p>4 本時の学びを振り返り、次時の課題を設定する。 【BeforeAfterシート・鳥の目タイム】</p>	<p>BeforeAfterシートを見返して、学習を振り返ろう。 私は、丈夫だからというところに線を引いたよ。長く使うことを考えて選んでいる友達の意見を参考にして考えたよ。僕は、洗濯できるからというところに線を引いたよ。ママーさんに聞いたら、洗濯できると教えてくれたからだよ。 〇〇さんは、ママーさんに聞いて分かったそうです。私も教えてもらってよかったです。僕も□□さんと同じで、友達の考えを聞いたから、自分の袋に合った布が選べました。 布選びの視点は、ふだんの生活で布製品を選ぶときにも使えそうだな。 お店で布を買って、早く製作したいな。</p>

提案授業1日目

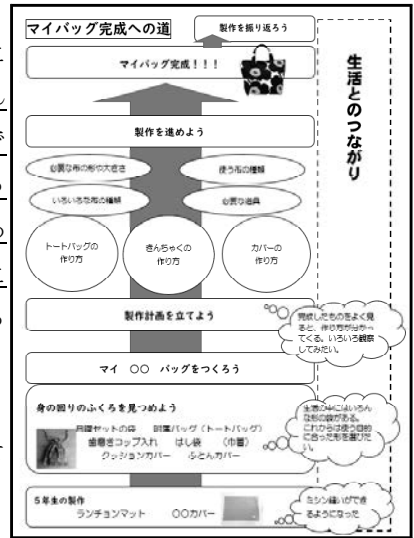
課題解決中

課題解決後

(3) 授業の詳細 (マ…ママーズの主な動き)

前時までの子供の意識 学習活動 1

前時までに子供たちが、マイバッグを作るための手順をまとめた製作計画を考え、布には様々な種類があることを学んでいる。これまでの学びを可視化した右のような学習計画を見ながら、前時までにできたことを確かめ、本時解決したい学習課題について話し合っていく。「前の時間にマイバッグの作り方は考えていろいろな布があることが分かったよ。私は上靴入れを作りたいから、それに合った布を考えたい」と課題設定の理由を表出し、課題の妥当性を感じられるようにして、学習課題を設定する。【マイバッグ完成への道】



学習活動 2

教師が数種類の布を提示し、その中から、製作で使いたい布とその理由を「BeforeAfterシート」に書き、友達と交流する。その際、まず「Becauseボード」に自分の選んだ布とネームプレートを貼ることで、互いの考えの違いに気付くようにする。そして、「私は、今使っている上靴入れと同じのがいいから、キルティングにするよ。色は汚れが目立ちにくそうだから黒にするよ。どうして水色にしたの」「僕は本を何冊も入れたいから、破れにくそうな厚い布にしたよ。キルティングも丈夫そうだね。僕は好きな色だから、水色にしたよ」などと質問しながら、選んだ理由を伝え合っていく。その際、「好み」「丈夫さ」「汚れが目立ちにくさ」などの短いキーワードにして「Becauseボード」に書いていくことで、理由の共通点や相違点に気付くことができるようにする。

【マイバッグ完成への道】

【Whyタイム・Becauseボード】(マ: 布を選ぶ際、困っている子供に、使う人の立場からアドバイスをする。また、グループで子供と一緒に話合いに参加し、布を選ぶ際の視点に気付いていくことができるように支援する。)

学習活動 3

全体交流で明確になった視点で、使う布を再考し、その理由を「BeforeAfterシート」に記述する。そして、選んだ布に合わせて、「固い布なので、もう少しゆとりがあった方がいいかもしれない」と布の大きさを考えたり、「やわらかい布で周りがほつれそうだから、二重に縫おう」と縫い方を修正したりしていく。(マ: こだわりのある子供には、提示された見本の布以外にも店には様々な種類の布があることを伝え、本時見付けた視点も大切にできるように声をかける。)

○Before (ビフォー)

選んだ布	色	理由

考えが変わった(変わらなかった)理由

○After (アフター)

選んだ布	色	理由

【生活に生かしたいこと】

【BeforeAfterシート】

学習活動 4

授業の終末では、課題解決中に記述した「BeforeAfterシート」を見返し、考えが深まったと思うところに赤線を引き、「考えが変わった(変わらなかった)理由」の観点を基にグループで交流する。【BeforeAfterシート・鳥の目タイム】全体交流では、「○○さんは、丈夫さというところに線を引いていました。始めは手触りの好みで選んでいたけど、友達と話して丈夫さの視点が増えたからだそうです。僕も友だちの話を聞いて選ぶ布が変わりました」などと自分の考えや共感した友達の振り返りを紹介して、学び方のよさを共有していく。さらに、本時の学びを「マイバッグ完成への道」に位置付け、「生活に生かしたいこと」の観点での振り返りを記述し、共有することで、生活につないで考えることを習慣化できるようにしたい。

(4) 評価

選んだ布とその理由を交流することを通して、性質の異なる様々な布の中から、自分の目的に合わせ根拠をもって製作に使う布を選択し、製作計画を見直している。【方法：発言・BeforeAfterシート】